

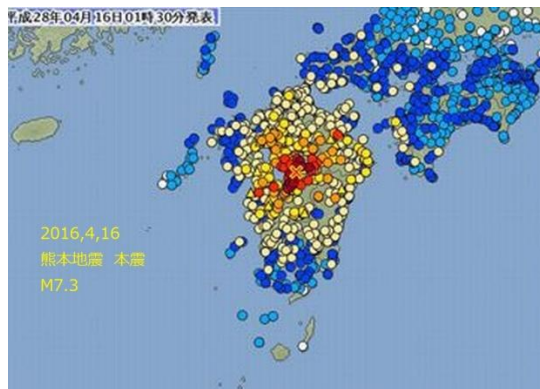
## 260728 熊本地震 M7.1 の前兆データの検証について その2



### 1, 7/28 の熊本地震と【高知介良】のデータについて

7/28 の熊本地震の前兆データについて、10 年前の地震は 現在の【高知介良】、当時の【高知 B449】という同じ観測点に 同じような長期で大型のデータが続き、収束して地震が発生しています。今回も全く同じ観測点の、同じ様な長期で大型のデータが収束してきてほぼ同じ位置の震源で M7.1 が起きており、その予知の経過は次の通りです。

### 2016,4,16 熊本地震本震 M7.3



### 2026,7,28 熊本地震 M7.1



### 2, 2016 年の熊本地震から 10 年目の慰霊祭について

#### 4/15 (水) 逆ラジオ通信 No.111 のトピックスに

＜熊本地震から 10 年、エネルギーの蓄積で 次の大地震の可能性＞ として

＞ 10 年前の 2016 年 4/14 に熊本で、最初に M6.3 が発生し、2 日後の 4/16 深夜に M7.3 の

＞ 本震が発生しました。この時の【高知 B449】は、いまの【高知介良】の観測点で、約 5 年間の

＞ 長期データが減衰、収束してきています。

＞ 現地で地震から 10 年の節目で慰霊祭等が行われていますが、10 年間で 次の大地震の

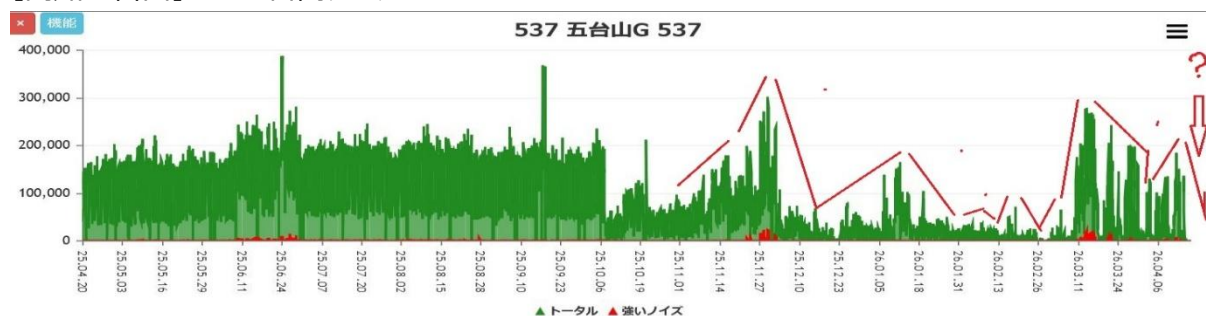
＞ エネルギーの蓄積が考えられ十分な警戒が必要です。

と載せています。

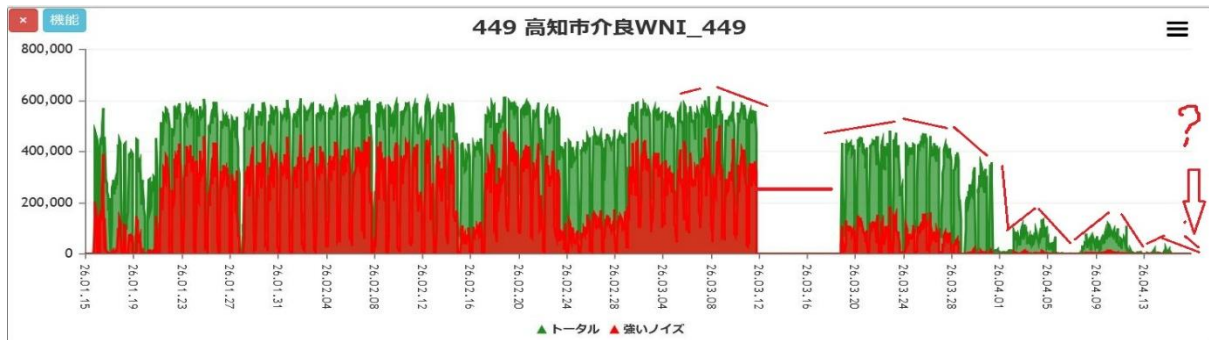
この時点で 【高知五台山】と【高知介良】の 2～5 年に渡る長期大型データは減衰してきており

明らかに 10 年間分の蓄積されたエネルギーの発散である大地震が近いと考えられました。

### 【高知五台山】 360 日間データ



#### 【高知介良】90 日間データ（26,4,30 まで）



しかし、逆ラジオのデータを知らない大多数の方がたは 再度熊本に大地震が迫っている事など知る由もなく 慰霊祭に参加されていたことと思います。

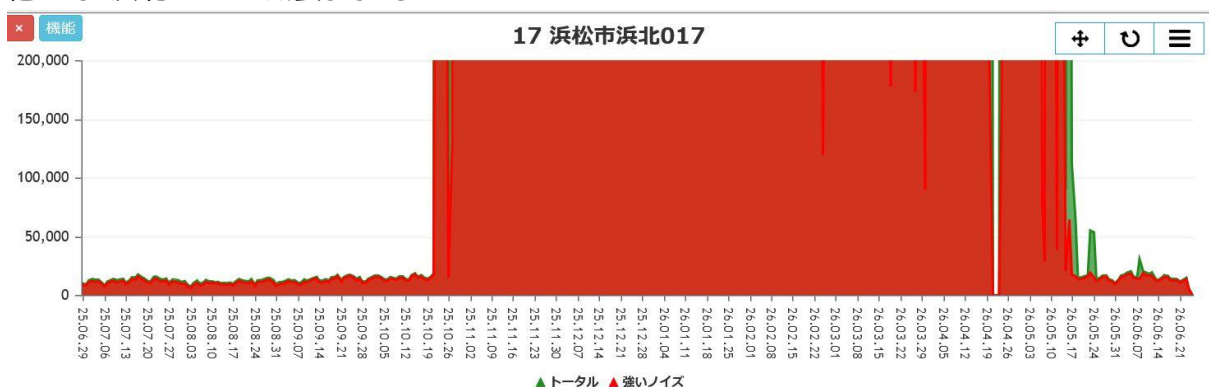
3, 九州を震源域の予想からはずしてしまった失敗。

その後、4 月中頃になって 九州の【大分県】観測点のデータが減衰から上昇に転じてしまい、逆に浜北、伊勢、守山などの近畿、中部のデータが減衰してきた事から 予想の震源域から九州をはずし、予想の震源域を近畿寄りに変えました。その為、今回の震源の位置はまったくはずれました。

大分県 360 日間データ > 4/9 頃から急増している。



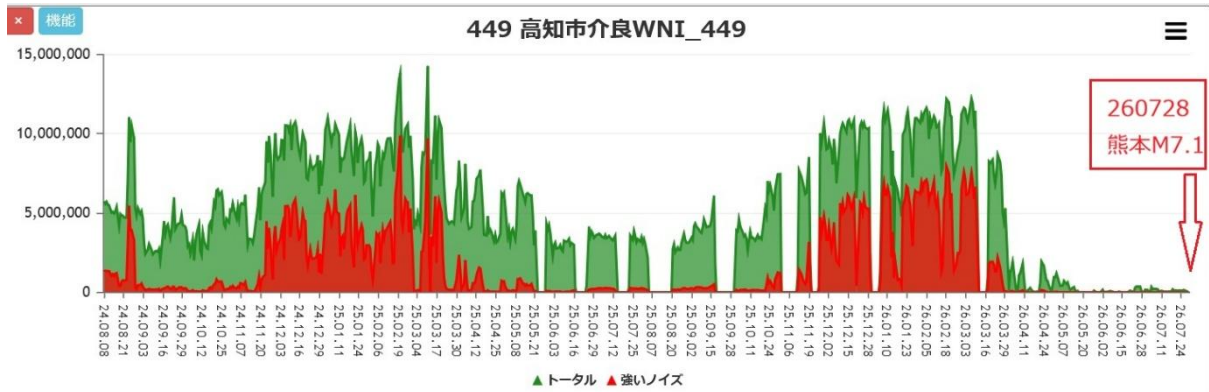
他方で 浜北 017 は減衰している



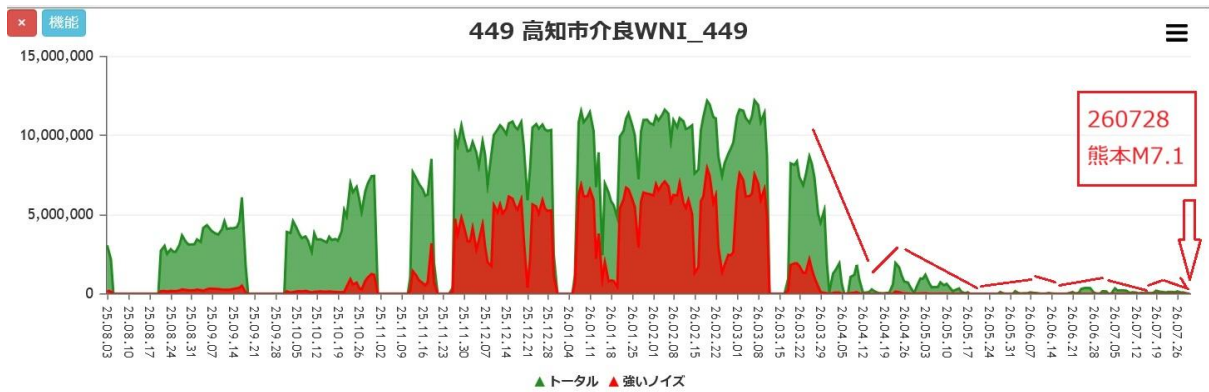
4, 【高知介良】だけは減衰が続く

しかし【高知介良】だけは ひたすら減衰を続けていき、7/28 熊本地震 M7.1 が発生しました。

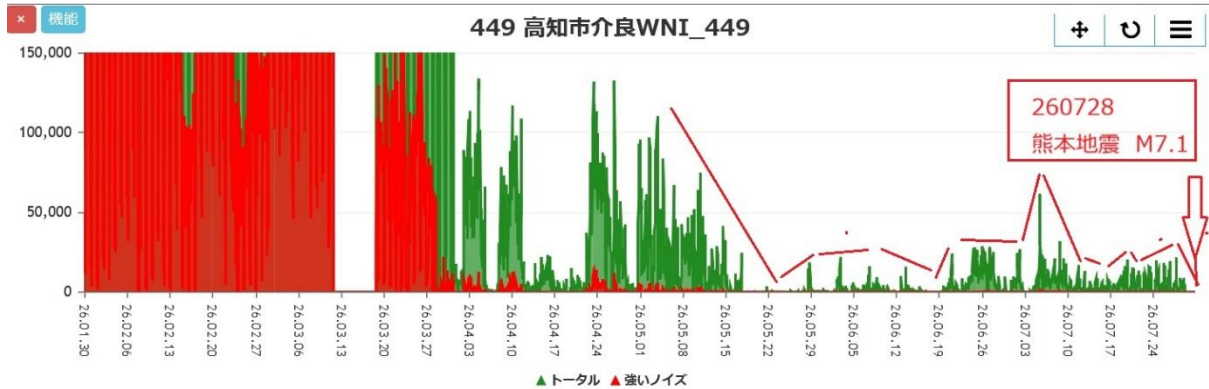
## 【高知介良】720 日（2 年）間（日毎）データ



## 【高知介良】360 日（1 年）間（日毎）データ



## 【高知介良】180 日間データ



## 5、逆ラジオ通信の経過

今回、7月28日 熊本大地震 M7.1 の前兆データにつき、毎週水曜日にゆれくるんの会員に送っている“逆ラジオ通信”の中で、四国、九州等に関連する文章を 3/18 以降から以下に抜粋して見ました。

### 震源について>

3月から見て、当初は “四国、九州等の地区での大地震の可能性が高い”として“九州”を視野に入れています。しかし 4/22 頃からは 九州の【大分県府】が上昇し、【熊本宇城】は横ばいのデータになり、予想される震源につき、九州を除外し、四国から近畿寄りとした。

### 地震の規模について>

【高知五台山】は 2024 年 5 月から続く、約 2 年間の長期のデータで、長さでは 過去の 2016 年の

熊本地震や 2024 年の能登地震の前兆データを上回るもの、として 4/1 かたは “M6 超から M7 クラス”と書いて M7 クラス、2016 年の熊本地震や 2024 年の能登地震を上回る、としています。

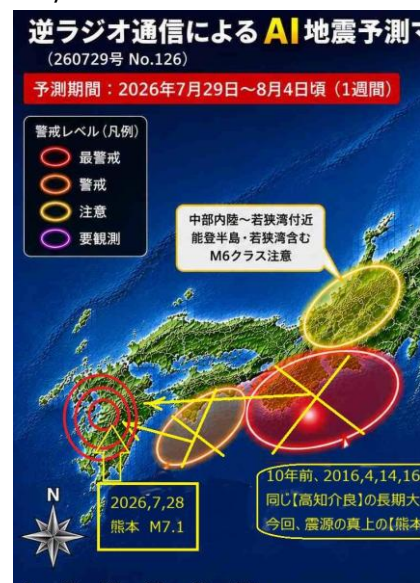
発生日について>

今回の【高知介良】のデータは 3 月末頃から減衰が始まりましたが、なかなか収束にならず、その間なんども、発生予想日を更新、延期しています。しかしなかなか地震が発生せず、減衰してきてから地震発生まで長引くのは規模の大きな地震の場合が多いです。発生日については 7 月に入っても 7/8～10 日間程度などとしており、直前の 7/22（水）には “近畿～四国にかけての大型データが揃って減衰～大地震の可能性が高まる” と書いています。

7/22（直前の配信）の AI 予測マップ > 九州に〇無し。



7/29 実際の地震発生の図



## 6、反省点と検証の必要性

【高知介良】だけは ひたすら減衰を続けていっていたにもかかわらず、九州のデータが減衰から上昇に転じてしまい、逆に浜北、伊勢、守山などの近畿、中部のデータが減衰してきた事から 予想震源を九州はずし、近畿寄りに変えたことから 今回、震源の位置はまったくはずれとなりました。

反省点としては

> 高知介良、当時の高知 B449 という同じ観測点に

> 同じような長期で大型のデータが続き、

> 同じ様に減衰、収束した

ということをもっと重視して、熊本を震源の候補から はずすべきではありませんでした。

## 7、疑問について

しかし、次の疑問が出ます。

① なぜ 2016 年に続き、2026 年も【高知介良】だけが反応したのか？

= 高知の他のデータは なぜ反応しなかったのか？

= 【高知五台山】は途中まで（4 月頃まで）同期していたがなぜ 5 月頃から同期しなくなったか？

= 熊本と高知は距離があるが【高知介良】が熊本とどう、つながるのか？

② 【大分県】のデータがなぜ減衰から上昇に転じ、減衰しなかったのか？

③ 【熊本宇城】は長く横ばい状データが続き、直前（同時？）に急な減衰をしているのはなぜか？

④ 浜北、伊勢、守山などの近畿、中部のデータが同じ様なタイミングで減衰してきたのは何故か？

> ①については次の様に考えます。

関東の10数か所で反応するのは3分の1くらい > 装置の設置環境によると考えられる  
2016年も【広島】が途中まで同期していたが、途中から反応しなくなった。

また、逆ラジオによる地震の前兆データとしての電磁波ノイズは

> 大きな規模の地震ほど データの出る場所が離れる傾向がある

> 震源の真上でなく、震源を取り囲む円状に異常データが出る事が多い = “ドーナツ現象”

こうした現象を “傷のついたゴムボール現象”とを考えてみます。

今回の熊本地震では“日奈久断層が動いた”と言われていますが、断層自体は地下の割れ目であって、断層それ自体に動く力は無いと思われます。断層が動くには周囲の地下に圧力がかかり、その圧力がピークに達して、一番弱い場所、断層が割ける = 割れる、ということだと説明がつく様に思います。

#### 傷ついたゴムボール理論 Wounded (injured) gum ball theory (hypothesis)

When big earthquakes more than M6 happened, before the earthquake, noise data can be catch far distance, more than 200km or 300km from epicenter,

This means that electric magnetic noise area and epicenter are not same area,

Big pressure was put on some far area and surround area of epicenter,

And at last, the fault moves by these pressure This is a Gum ball theory, it is good for explanation for these situation

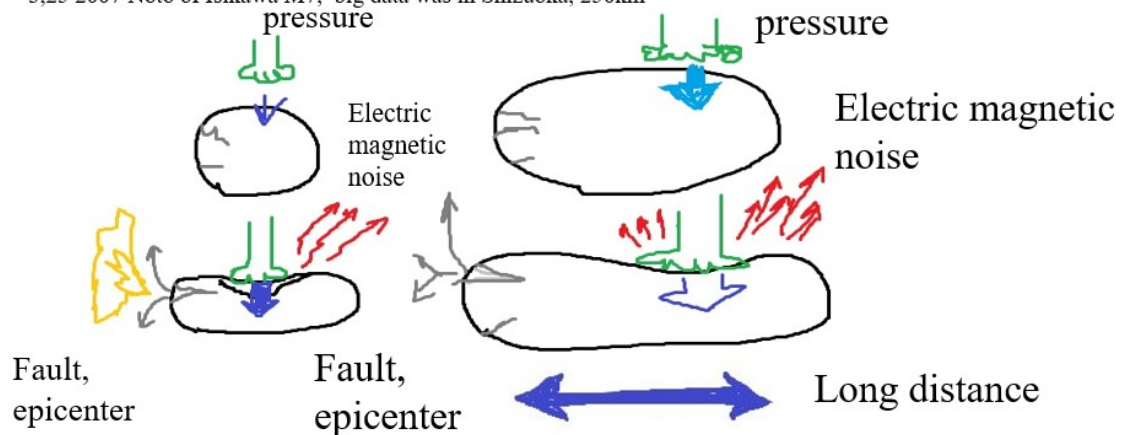
ゴムボールが押されて電磁波が出るが 最後に傷の部分 = 断層が切れて(ずれて)地震になる。

押される部分から電磁波が出るが 大きい地震ほど震源からは離れている。

4, 14, 2016 Kumamoto M7 data was Hiroshima Kouchi, 270km

May and July of 2003 Miyagi M7, data was in Tokyo, 300km

3, 25 2007 Noto of Isikawa M7, big data was in Shizuoka, 250km



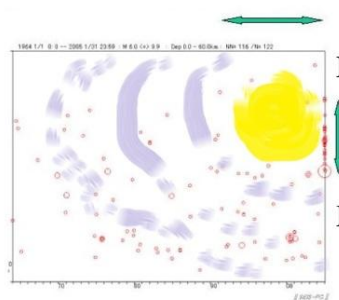
また 地震の規模が大きくなるほど、ドーナツやゴムボールが大きくなる様に考えられます。

## ドーナツ現象

### ドーナツ効果 Doughnuts pattern



- Before big earthquake happened, in some case, epicenter area was blank area (no earthquakes), in surrounded area of blank center, smaller earthquakes happened many times, This is called Daunts pattern, in Japan, For instance, in 1978 Shimane east (M6.1), small earthquakes happened from half year before surrounded blank center, and main earthquake was happened in the center area, others 1923 Kanto, 1894 Tokyo, 1895 Ibaraki south, 1909 offshore Chiba, 1921 Ibaraki south in Japan.



地震の前兆現象は 震源をとりまく  
ドーナツ状に出てくることが多い  
Blank area

Many earthquakes area

### 過去の大地震と異常データの出た観測点の位置の関係

